

創造開発研究センター・社会連携創造部門 四日市フロント

地域への大学の出先機関として、産学官連携を進めています。

四日市フロントは、三重大学が進める地域貢献、産学官連携活動において、初めて地域に開設した拠点です。三重県北勢地域の市民、地方自治体、企業、経済団体などを対象に学内すべての部門が協力し、ますます活発な活動を展開しています。

創造開発センター・社会連携創造部門 四日市フロント

三重大学は地域で唯一の国立総合大学として、教育・研究を通じた地域社会への貢献が求められています。大学ではこの使命を果たすべく、地域の拠点に自ら進出し、社会と密着した連携活動を行うことで、より多くの方々に受け入れられる連携活動が可能と考えています。その最初の拠点が、三重県北勢地域の市民、地方自治体、企業、経済団体と広く連携するための、四日市フロントです。

四日市フロントは三重大学が独立行政法人となる半年前、平成15年10月に近鉄四日市駅から徒歩3分の場所にある「じばさん三重」に開設されました。地域に拠点を構えることで、地域のニーズに的確に応えるとともに、ニーズの変化に速やかに対応した活動ができるものと期待されています。

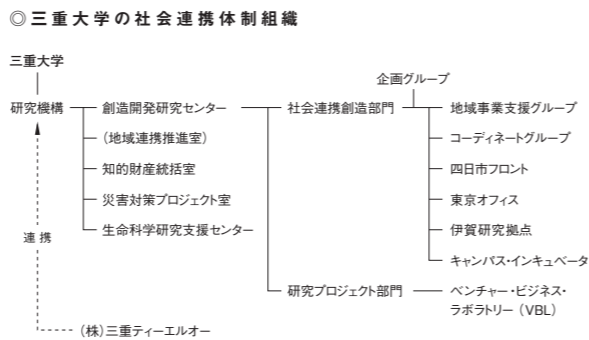
国は地域イノベーションを創出し、地域の活性化につながるさまざまな施策を打ち出しています。三重大学は地域の知の拠点として、県、市町村、公的研究機関や他の大学をリードし、それに応える役割を担っています。今後、地域貢献、産学官連携を進めていく上で、地域の拠点としての四日市フロントの果たすべき役割は、ますます重要になってきており、大学内のすべての部門と協力しこの使命を果たしていきたいと考えています。

[最近の主な活動]

- 北勢地域にある中小企業や四日市コンビナート企業との産学官連携活動を推進し、企業との共同研究などをコーディネートし、地域企業の活性化や新産業創出の支援を行っています。
- コンビナート企業、四日市消防本部、三重大学工学部が連携して「四日市コンビナート産学官連携会議」を立ち上げ、産学官が協力して環境や安全に関する技術力の向上を図っています。
- 四日市市が主催する市民大学で、「21世紀ゼミナール」と題して大学のさまざまな分野の先生方が講演を行い、四日市市民に三重大学を知っていただく活動を行っています。
- 教育学部と四日市教育委員会が友好協定を締結し、教育現場に直接足を運び特別支援教育などの指導を行っています。



三重北勢地域地場産業振興センター4階(じばさん三重)にオフィスを構える。



- ◎四日市フロントのコーディネート活動
- 四日市フロントにはコーディネーターが駐在し、地域企業や地方公共団体、民間企業などとの連携を図るためのコーディネート活動を行っています。
- コーディネーターによる技術相談
 - 外部機関との研究連携・協力の推進
 - 研究成果の技術移転推進
 - セミナーなどの開催
 - 研修室の貸し出し

三重大学四日市フロント
〒510-0075 四日市市安島1丁目3番18号
(財)三重北勢地域地場産業振興センター内4階 三重大学四日市フロント
※近鉄四日市駅から徒歩3分

お問い合わせ先
TEL / FAX:059-353-8260 E-mail:yokkaichi@ab.mie-u.ac.jp

T O P I C S

日本設備管理学会論文賞



大学院生物資源学研究科教授

陳山 鵬

2008年6月、日本設備管理学会平成20年度通常総会で「時間領域の有・無次元特徴パラメータの統合による回転機械設備の状態診断法」という学術論文に「論文賞」が授与されました。本論文は、生産設備の事故やトラブルを未然に防ぐために、振動・音響による回転機械設備の状態診断において有・無次元特徴パラメータの統合による高精度な異常診断法、および知的状態記録装置の構築法について提案・検証したもので、生産プラントの安全・安心に大きく寄与するものと高く評価されました。

IEICE FELLOW



理事

小林英雄

2008年9月17日電子情報通信学会ソサイエティ大会において、「デジタル信号処理を用いた高能率変復調技術に関する貢献」により電子情報通信学会よりフェローの称号が贈呈されました。本フェロー制度は「本学会への貢献が大で、かつ学問・技術または関連する事業に関して功績が認められる正員に対して授与」されるものです。

ベルツ賞



大学院医学系研究科教授

鈴木宏治

「ベルツ賞」は、我が国の医学の発展に尽くしたドイツ人のエルヴィン・フォン・ベルツ博士の功績を讃え、日独国際間の協力を推進するために創設された医学賞で、毎年特定の医学分野の優れた学術論文に授与されます。今年は「血栓症」がテーマで、「トロンボモデリン(TM)の構造と機能を解明し、組換えTMを血栓症治療薬として開発した業績」により一等賞を受賞しました。2008年11月19日ドイツ大使公邸で行われた表彰式では、賞状とメダルが授与されました。

日本農芸化学会BBB論文賞 (2008.3.26受賞)

大学院生物資源学研究科准教授
木村哲哉 他12名

Improved Gateway binary vectors :high performance vectors for construction of fusion construct transgenic analysis of plants

日本生物工学会生物工学論文賞 (2008.8.27受賞)

大学院生物資源学研究科准教授
木村哲哉 他9名

Development of series of Gateway Binary Vectors, pGWBs, for realizing efficient construction of fusion genes for plant transformation

日本土壌肥料学会奨励賞 (2008.4.4受賞)

大学院生物資源学研究科准教授
水野隆文

重金属超集積性植物における重金属元素集積メカニズムに関する研究

日本植物細胞分子生物学会技術賞 (2008.9.1受賞)

大学院生物資源学研究科准教授
木村哲哉 他2名

Gateway技術を用いた植物遺伝子機能解析システムの開発

糖尿病治療研究会 “We are up for self-care” Award 最優秀賞 (2008.5.22受賞)

医学部附属病院副看護師長
藤井夕香

フットケア外来を通して明日につながる糖尿病看護を

日本学術振興会マイクロビームアナリシス榊奨励賞 (2008.9.16受賞)

大学院工学研究科准教授
畑 浩一

カーボンナノチューブからの電界放出についての先駆的研究と実用化

日本医学教育学会大会奨励賞 (2008.7.5受賞)

大学院医学系研究科教授
武田裕子

Mailing List (ML=list-serve) as an Effective Tool for Interactive E-learning in Continuing Medical Education

日本味と匂学会研究奨励賞 (2008.9.18受賞)

医学部附属病院講師
小林正佳

スティック型嗅覚検査法の臨床的・国際的有用性 嗅覚障害の再生医療